

## まちづくり構想検討委員会 会議概要

| 「北区まちなか賑わい創出事業」市民プロジェクト 公開シンポジウム議事録 |  |       |                                    |       |                        |          |  |    |   |     |  |  |                |
|-------------------------------------|--|-------|------------------------------------|-------|------------------------|----------|--|----|---|-----|--|--|----------------|
| 開催日時                                | 平成26年2月8日(土) 午後1時30分～午後3時25分   |       |                                    |       |                        |          |  |    |   |     |  |  |                |
| 会場                                  | 北区白新町2丁目 長岡屋 2Fホール   |       |                                    |       |                        |          |  |    |   |     |  |  |                |
| 参加者                                 | <table border="0"> <tr> <td>自治協議会</td> <td>: 山崎会長、中谷内、吉田、<b>渡部</b>、高谷、谷澤、阿部</td> </tr> <tr> <td>検討委員会</td> <td>: 中出会長、外山副会長、長井、山田、熊田、</td> </tr> <tr> <td>市民プロジェクト</td> <td>: <b>五十嵐(智)</b>、吉田、豊崎、<b>尾崎</b>、<b>牧野</b>、小日向、<br/>鈴木、曾我、<b>青木</b>、富澤、<b>入山</b>、</td> </tr> <tr> <td>市民</td> <td>: 近藤、田中、秋沢、南場、小柳、田沼、<b>宇賀田</b>、青木、熊田<br/>富田、高野、堀、<b>大堀</b>、佐藤、<b>小熊</b>、風間、吉井、木村、雪井<br/>金城、青柳、高橋、鶴間、滝澤、松田、米田、<b>池田</b>、佐藤</td> </tr> <tr> <td>事務局</td> <td>: 栗林、横山、<b>岡田</b>、<b>袖山</b>、<b>本間</b>、<b>渡部</b> (敬称略)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>(太字: 女性) 計 57名</td> </tr> </table>   | 自治協議会 | : 山崎会長、中谷内、吉田、 <b>渡部</b> 、高谷、谷澤、阿部 | 検討委員会 | : 中出会長、外山副会長、長井、山田、熊田、 | 市民プロジェクト | : <b>五十嵐(智)</b> 、吉田、豊崎、 <b>尾崎</b> 、 <b>牧野</b> 、小日向、<br>鈴木、曾我、 <b>青木</b> 、富澤、 <b>入山</b> 、 | 市民 | : 近藤、田中、秋沢、南場、小柳、田沼、 <b>宇賀田</b> 、青木、熊田<br>富田、高野、堀、 <b>大堀</b> 、佐藤、 <b>小熊</b> 、風間、吉井、木村、雪井<br>金城、青柳、高橋、鶴間、滝澤、松田、米田、 <b>池田</b> 、佐藤 | 事務局 | : 栗林、横山、 <b>岡田</b> 、 <b>袖山</b> 、 <b>本間</b> 、 <b>渡部</b> (敬称略) |  | (太字: 女性) 計 57名 |
| 自治協議会                               | : 山崎会長、中谷内、吉田、 <b>渡部</b> 、高谷、谷澤、阿部   |       |                                    |       |                        |          |  |    |   |     |  |  |                |
| 検討委員会                               | : 中出会長、外山副会長、長井、山田、熊田、   |       |                                    |       |                        |          |  |    |   |     |  |  |                |
| 市民プロジェクト                            | : <b>五十嵐(智)</b> 、吉田、豊崎、 <b>尾崎</b> 、 <b>牧野</b> 、小日向、<br>鈴木、曾我、 <b>青木</b> 、富澤、 <b>入山</b> 、   |       |                                    |       |                        |          |  |    |   |     |  |  |                |
| 市民                                  | : 近藤、田中、秋沢、南場、小柳、田沼、 <b>宇賀田</b> 、青木、熊田<br>富田、高野、堀、 <b>大堀</b> 、佐藤、 <b>小熊</b> 、風間、吉井、木村、雪井<br>金城、青柳、高橋、鶴間、滝澤、松田、米田、 <b>池田</b> 、佐藤  |       |                                    |       |                        |          |  |    |   |     |  |  |                |
| 事務局                                 | : 栗林、横山、 <b>岡田</b> 、 <b>袖山</b> 、 <b>本間</b> 、 <b>渡部</b> (敬称略)   |       |                                    |       |                        |          |  |    |   |     |  |  |                |
|                                     | (太字: 女性) 計 57名   |       |                                    |       |                        |          |  |    |   |     |  |  |                |
| 内容                                  | <p><b>開会(午後1時30分)</b><br/>本日のスケジュール<br/>シンポジウムの進め方、アンケートの記入について</p> <p><b>1 開会あいさつ</b></p> <p>1) 新潟市北区自治協議会 山崎会長<br/>2) まちづくり構想検討委員会 中出会長<br/>3) 豊栄駅前通商店街振興組合 長井代表理事</p> <p><b>2 オリエンテーション</b></p> <p>1) 北区まちなか賑わい創出事業について P1～P2<br/>北区自治協議会提案事業の背景<br/>本事業の目的、事業内容、推進体制について<br/>公開シンポジウムの位置付け</p> <p>2) 本年度の活動経過及び今後の予定について</p> <p><b>3 葛塚中心部まちづくり構想(素案)について</b></p> <p>中間報告 ①、①-2 P3～P4<br/>中間報告 ② P5<br/>素案説明<br/><b>素案1</b> &lt;事務局:袖山、市民PJ:小日向&gt; P6～P7<br/>「目指すは、コンパクトで行政と民間が一体化した新しい中心市街地の在り方に挑戦する！」<br/><b>素案2</b> &lt;事務局:本間、市民PJ:豊崎&gt; P8～P9<br/>「子育てを合言葉に、世代間交流に重点を置いた地域の交流力を高めて賑わいを取り戻そう！」<br/><b>素案3</b> &lt;事務局:岡田、市民PJ:青木&gt; P10～P11<br/>「街なか居住と街なか拠点BC(ビジネスセンター)で、葛塚の中心部にパワーを集めよう！」</p> |       |                                    |       |                        |          |  |    |   |     |  |  |                |

**素案1**

＜事務局：袖山、市民PJ：小日向＞

P6～P7

**「目指すは、コンパクトで行政と民間が一体化した  
新しい中心市街地の在り方に挑戦する！」**

- 要点 1. 新館棟に一般市民が利用費度の高い窓口を残す。  
区民生活課、健康福祉課、税務センター、区長室、会議室
2. 本館棟跡地は2階建て駐車場とし、イベント広場や避難場所として活用。
3. 新館棟に残す以外の課は商店街区域内に分散配置する。  
分散配置した課への来庁者駐車場は上記駐車場を利用。
- ※今までも様々な行政系業務機能が配置されたが、商店街としては真剣に利活用に取り組んでこなかった。区役所の「移転新築」という危機感を受け止めて、新たな中心市街地での商店街の役割を見直す。
- 補足 1. 新潟市中央区の賑わいが衰退したのは、市役所の移転が原因だろう。
2. なるべく元の姿を変えないでこれからの社会に対応したほうが良い。
3. 立派な建物（立派な区役所）に誇りを持つことは無い。  
より費用をかけずにコンパクトな整備のほうが将来のために良い。

**素案2**

＜事務局：本間、市民PJ：豊崎＞

P8～P9

**「子育てを合言葉に、  
世代間交流に重点を置いた地域の交流力を高めて賑わいを取り戻そう！」**

- 要点 1. 公民館、図書館、文化会館などが新築される際に、狭い範囲での需要を満たすことはしてきたが、街全体に波及するほどの取り組み方は出来ていなかった。この場所を期に、街全体に波及する目標を立てる。
2. 近年増えつつある若年層と子育てが終わった経験者を共に活かして、たくましい子供を育てることで地域の世代間交流を高めたい。
3. 子育てを合言葉に、母子環境、高齢者の不安、若年層の活用などなど様々な地域の問題点に積極的に関わることができる交流力を高める。
4. 世代を超えて学ぶ場、子育てを支援する場、食や出会いを図る場を新館棟で企画し、周辺部は駐車場を中心として、多目的広場や空中庭園など子供達の野外活動を支援しつつ、一時避難所としても活用する。
5. 特に葛塚市側の多目的広場については、照明設備などの設備を整えて、葛塚市による利用や商店街活動による利用可能な場所とする。
- 補足 1. 「子育て」というキーワード以外にも、様々な集いを期待したい。
2. 行政の縦割りの施設ではなく、この施設をいろいろな行政分野で利用することができるようにしたい。

「街なか居住と街なか拠点BC（ビジネスセンター）で、  
葛塚の中心部にパワーを集めよう！」

- 要点
1. 本館棟跡地に若年者用シェアハウスと高齢者住宅を建設する。  
3～5階は住居階とし、2階は居住者共用階とする。  
1階は市民向け集客施設を導入することにしたい。  
住替えしていただいた住居を利用して、新世帯に貸す方策を取る。
  2. 新館棟を利用して「地域包括ケア」を支援するセンターとしての機能を持ち、地域の在宅介護世帯を支援できるような場所として利用する。  
高齢者住宅への入居促進のメリットとしたい。
  3. 街なかビジネスセンターは、若年層、リタイヤ世代をターゲットとして隙間産業とも言うべきボランティアの事業化や新規参入業種を促進するためのマッチングを行い、周辺商店街地区への空き店舗活用等の促進を狙いとし、生き甲斐のある地域活動を支援することとする。

- 補足
1. 元気だけどこれからの生活が心配な高齢者が住む場所を作る。  
歩いて買い物等ができる場所に住んでもらう。
  2. 若者と高齢者が力を合わせて生活できるようにしたい。
  3. 商店街も空き店舗を利用して不足業種等を誘致する活用を望む。

#### 4 質疑応答

- Q（吉田）：オリエンテーション分野ではあるが、自治協議会が要請した「移転新築」が望ましいという判断の根拠は何なのか？話を聞いてみたい。
- A（山崎）：平成23年度の庁内検討委員会の報告書が示され、敷地面積10,000㎡という必要面積が示された。平成24年度の特別部会の議論の中では、そのスペースが何処で確保できるのか？という議論があり、また震災後であったために災害時の復旧拠点となり得るスペースや交通の利便性や機能が求められた。また現実問題として、元々区役所があっても賑わいが無くなっている。区役所が有るか無いかによって、賑わいは大きく左右されないであろうという判断もあった。
- Q（田沼）：素案1と自治協議会の要請書で言う「移転新築」は整合性があるのか？
- A（事務局）：皆様方で判断してもらいたい。
- Q（田沼）：「移転新築」をどう考えるのか？そことの整合性が大事だと思うし、後になって整合性がないと言われると、議論している意味が無くなる。  
せっかく会長方がいらっしゃるので、ご意見を聴かせてもらいたい。
- A（山崎）：市民の方々からの素案であるので、今の段階で整合性があるかどうか？という話ではない。

- A（中出）：結論から言えば、整合性が無いことはないと思う。  
移転新築の論拠は、本館棟の耐震性に大きな危険性があり、要求される敷地面積も限られているので窓口くらいは残したいという提案だ。  
長岡の例を見ても、市役所が一つの建物に集中している訳でもなく、分散配置されている。利点と弱点があるのでよく検討すべき項目だ。
- Q（田沼）：きちんと考慮した上で進めていただきたい。逆戻りしないような進め方をしてもらいたい。
- A（中出）：市民プロジェクトは比較的枠組みの無い中で自由な意見交換から始めている。枠組みをはみ出すような提案もあったが、無制限の予算や民地への言及についても検討委員会からは制約をお願いした経緯もある。
- Q（田中）：今日初めて話を聞き、感心させられた面もあった。素案1を検討する際に駅前の倉庫の場所は考えなかったのか？
- A（事務局）：このプロジェクトでは区役所をどこにするのか？という事を議論する場ではなく、あくまでも現在の区役所跡地として考えていたため、駅前の市有地は視野に入れていなかった。
- Q（曾我）：区役所は1箇所に絞らずに2カ所でもいいのではないかと考える。  
現在の本館跡地にも現在の区役所機能を残して中心部全体の構想を考えるということが有っても良いのではないかと思う。
- A（中出）：区役所分散はメリットとデメリットがあり、議論が必要です。  
魚沼市の例（6つの役所 → 現在2つにしようとしている）  
分散配置を勧めている訳ではなく、市民の戸惑いも考慮すべきです。  
長岡市は震災の資金があったので出来たという例と考えたほうがいい。
- A（事務局）：一般市民がよく利用する課と業者や特別な方々が利用する課については分けて考えて、商店街内に配置する手もあるのではないかとこの発想で素案1が組み立てられています。

## 5 会長の感想

- 山崎会長：現在の段階で良い、悪いを判断すべきではないと考える。興味深い素案も提案されている。検討委員会からの最終提案を受けて、自治協議会としても検討を進めたい。合併して10年近くなるが、そろそろこの地域の方向性なども明らかにしていきたいと考えている。  
これからも皆様方からいろんな提案をお待ちしています。
- 中出会長：3つの素案については、かなりいい所を突いていると思われる。  
20世紀型のまちづくりは製造業が発展して人口が増加してきて、「分ける」というまちづくりをしてきた。住宅地と工場地帯を機能的に分けるというやり方をしてきた。江戸・明治時代、ヨーロッパなどはいろいろ混じって賑わいを創りだしてきていた（ミックスユース）。  
ここにきてもう一度混じった街の創り方が取り入れられてきている。

一番わかりやすい例は東京の「六本木ヒルズ」。  
混ぜて相乗効果を高める手法が取り入れられる技術が開発されている。  
ハードだけでなく担い手（人）についても混じるように考えられている。  
郊外の住宅地には最初若夫婦と子供二人が入居して、年数が経つとみんな同じように高齢化して子供は一緒に住まなくなってしまうている。  
高齢者、若者、子育て世代などが混じって（ソーシャルミックス）、戸建て住宅、アパート、店舗、併用住宅などを利用しているという点で、なかなか良い勘所をついていると感じられた。  
また、日本全体の問題点として人口減少、高齢社会、少子化が進展した時に歩いて暮らせるとか身近でいろんなことができるという考え方が3つの案の前提にあるということは評価できると思われる。  
区役所本館跡地という地域資源を最大に利用して、この地区全体に波及効果が考えられる構想にしていきたいと思っています。

#### **閉会（午後3時25分）**

（事務局）・ぜひともアンケートをご提出いただきたい。

必ず市民プロジェクトで検討する際に活用させていただきますので、皆様のアイデアやヒントもキーワードとして記入いただきたい。